

# 党市議会議員 中村あさと



26日、河西コミュニティセンターで開かれた、子ども貧困対策全国キャラバンわかやまに参加しました。

公益財団法人あすのぼが主催し、和歌山大学教育学部や和歌山信愛大学子ども教育学科の共催で行われました。

あすのぼは、政策提言、支援団体への中間支援、子どもたちへの直接支援が主な活動方針としています。

全国キャラバンは、多くの都道府県で開催されていて来年にはすべての都道府県での開催を目指しています。今回は、今年公表された、子どもたちの生活実態調査の結果報告や太地町教育委員会教育長や和歌山県スクールソーシャルワーカーなど4人のパネリストの方々からの

## 全国キャラバンわかやまに参加しました

実態報告があり、続いて参加者の交流会がありました。

県スクールソーシャルワーカーの報告では、スクールソーシャルワーカーの役割として①学校をベースとしたソーシャルワーク②子どもの最善の利益と教員との協働③アセスメントに基づいたチーム支援などがあること、具体的には面談や家庭訪問といった直接的支援や校内、関係機関とのケース会議、支援体制づくりなどの間接的支援をおこなっているとの事です。

心がけとして、個人の抱える問題には環境的な理由がある事や、抱え込み、丸投げにならないためのチーム支援などをあげていました。

しかし、貧困対策での重要な役割が求められている一方で、支援する側の不安定な雇用状況など、問題点が指摘されていました。



## 芦原地区連合自治会長逮捕問題 追及してきた「ゆがみ」の一端

「芦原地区連合自治会長が詐欺の疑いで逮捕」という報道がありました。報道内容は同地区の公共工事を落札した業者に対し、個人で受け取るつもりなのに「芦原地区のために協力金として30万円を納めてほしい」などとうそを言い、現金をだまし取ったとされています。

業者から「落札額の3%ほし」といわれたと証言しているという事です。これまで、公営住宅入居問題や文化会館利用につ

いてや子ども会補助金などゆがんだ「同和行政」を引きずった問題を、県議団としても追及し続けてきました。今回その一端が明らかになったものです。

みなさんといっしょに問題の全面追及を進めてまいりたいと思います。(奥村のり子)

**災害募金を訴え**

左の写真は台風被災地へ送る募金を訴える県議団です。奥村、高田議員です(和歌山駅前)



## 不信がいっぱい 辞任やら暴言やら 何と云う内閣や!

台風15号が首都圏に上陸したのは9月9日未明でした。12日になっても政府は対策本部すら作らずお友達を集め内閣改造に懸命でした。それから1か月半余その内閣つたらもう飽きれてしまおう。一人は10月25日、菅原経産相辞任だ。この人は選挙区内違反の香典を配った選挙違反です。選挙区の自民党有力者に盆暮れに高級メロンやカニ、いくらなどを秘書に配らせていました。香典は議員本人が葬儀に参加しないと配れないが「秘書がしたかも調査する」とかぐづっていたが金品の贈与は公選法にかかわる疑惑であり議員の資格にかかわる問題です。なんと第2次アベ政権で9人目の閣僚辞任です。「任命責任は私にあります」と言うアベ氏だが本人に注意一つすることなく責任をとらず。第1党の自民党に数年で9人も辞職とは情けない政党ですなあ。

次は辞任ではないが萩生田光一文科相だ。大学入試改革で民間英語試験導入について「自分の身の丈に勝負してほしい」という発言です。ある大学生は「萩生田文科相の発言はありえない内容です。いまの社会で、大学受験結果は人生に大きな影響を与えます。だからこそ、受験は公平でなければなりません。英語入試『改革』は、受験生の経済状況や住んでいる地域によっておおきな不公平を生むものです」と語っています。共産党の小池書記局長は「憲法と教育基本法を踏みこむものだ。文科相の辞任を求めると会見で述べました。もう一人は河野太郎防衛相で「私は雨男、台風3つ来た」と被災地にとって不謹慎な発言です。(編集室)

11月1日	市駅前・宇治交差点宣伝	懇親会
2日	関西広域活相談連合全員協議会	
3日	憲法フェスタ紀の川市民の会	ウォーキング大会
4日	同窓会	
5日	関西広域質問準備	決算委員会傍聴
6日	会議	懇談
7日	決算委員会傍聴	会議 河西無料生

